

子どもの貧困対策

県政報告

ひとり親家庭の支援強化

神奈川県議会議員 きしべ 都
かながわ民進党

子どもの貧困対策の中で、経済的に苦しい傾向にあ
も、困窮の懸念が高い、ひとり、ひとり親家庭への対策
とり親の対策は重要です。は喫緊の課題です。

平成28年の国民生活基礎調査による「1世帯当たりの

平均稼働所得等」では、児童のいる世帯全体が約64
7万円なのに対し、母子世帯は約3分の1の約214
万円です。就労していても、

事業を強化しています。

経済的支援として「母子福祉資金貸付金」事業があり、今年度から広報の強化を実施。高校や大学に進学する際に必要な資金を貸し付ける就学資金の利用が見込みを上回る応募となり、今後、補正予算での事業額増額を検討しています。

また、日中は仕事で相談に行きづらいという声を受け、休日・夜間の電話相談事業を新たに開始。ひとり親の方に課題を整理して知らせ、必要な窓口につなぐ

取り組みは重要です。ひとり親への支援を始め、子どもの貧困対策の取り組みが実態を把握しながら、必要な対策を充実させていくよう取り組んでいきます。



みなさまからのご意見、
ご要望をお待ちしています
きしべ都政務活動事務所
南区通町2-25-3 千々輪ビル1階
☎045-341-3385
<http://kishibe-miyako.com/>